

# 通関情報処理システム E D I 仕様書

平成 24 年 10 月 9 日

輸出入・港湾関連情報処理センター



2.3.1	インターフェース仕様	2-3-1
2.3.2	利用回線	2-3-3
2.3.3	通信手順	2-3-4
2.3.4	回線障害時の動作	2-3-6
2.3.5	1物理回線で取り扱えるDTEアドレス数	2-3-7
2.4	NACCS接続ルーターの概要	2-4-1
2.4.1	NACCS接続ルーター (専用線接続用)の概観と諸元	2-4-1
2.4.2	NACCS接続ルーター (ダイヤルアップ接続用)の概観と諸元	2-4-4
2.4.3	NACCS接続ルーター (ダイレクト・インターフェース用)の概観と諸元	2-4-6
2.4.4	NACCS接続ルーター (ADSL及びブロードバンド光接続用)の概観と諸元	2-4-8
3.	電文方式と構造	
3.1	NACCS EDI電文	3-1-1
3.1.1	NACCS EDI電文方式	3-1-1
3.1.2	NACCS EDI電文の電文構造	3-1-1
3.1.2.1	入力共通項目(処理要求電文)	3-1-3
3.1.2.2	電文方式規則	3-1-4
3.1.2.2.1	処理要求電文の電文方式規則	3-1-4
3.1.2.2.2	処理結果電文の電文方式規則	3-1-5
3.1.2.3	業務個別項目の入力方法	3-1-15
3.1.2.4	出力共通項目(処理結果電文)	3-1-16
3.2	MIME形式電文	3-2-1
3.2.1	EDIFACT電文	3-2-1
3.2.1.1	EDIFACT電文の電文方式	3-2-1
3.2.1.1.1	シンタックスルール	3-2-1
3.2.1.1.2	メッセージバージョン	3-2-1
3.2.1.1.3	使用可能文字セット	3-2-1
3.2.1.2	EDIFACT電文の電文構造	3-2-2
3.2.1.2.1	入力(出力)共通項目	3-2-3
3.2.1.2.2	電文フォーマット	3-2-5
3.2.1.2.2.1	処理要求電文	3-2-5
3.2.1.2.2.2	処理結果電文	3-2-6
3.2.1.2.3	電文の処理方式	3-2-8
3.2.1.2.3.1	シングルメッセージの処理方式	3-2-8
3.2.1.2.3.2	マルチメッセージの処理方式	3-2-9
3.2.1.2.3.3	マルチB/L電文の処理方式	3-2-10
3.2.1.3	EDIFACT電文における受信確認	3-2-11
3.2.1.3.1	受信確認の時点	3-2-11
3.2.1.3.2	受信確認の手段	3-2-11
3.2.1.3.3	受信確認の通知	3-2-11

3.2.2	添付ファイル電文	3-2-12
3.2.2.1	添付ファイル電文の電文方式	3-2-12
3.2.2.2	添付ファイルの電文構造	3-2-12
3.2.2.3	実現方式について	3-2-13
3.2.2.4	処理シーケンスについて	3-2-14
3.2.2.4.1	インタラクティブ処理方式	3-2-14
3.2.2.4.2	メール処理方式	3-2-15
3.3	XML形式電文	3-3-1
3.3.1	XML形式電文の電文方式	3-3-1
3.3.1.1	XML形式電文のフォーマット/バージョン	3-3-1
3.3.2	XML形式電文の電文構造	3-3-1
3.3.3	XML形式電文の送受信電文の種類	3-3-2
3.3.4	XML形式電文の電文仕様	3-3-3
3.4	電文の種類	3-4-1
3.5	各種電文制御項目	3-5-1
3.5.1	入力情報特定番号	3-5-3
3.5.2	電文引継情報、電文制御情報（分割通番、最終表示、電文種別）	3-5-4
3.5.3	継続処理(索引引継情報)	3-5-6
3.6	コード体系	3-6-1
3.6.1	文字コード体系	3-6-1
3.6.1.1	上り電文(処理要求電文)で使用する文字コード	3-6-2
3.6.1.2	下り電文(処理結果電文等)で使用する文字コード	3-6-4
3.6.2	文字化けについて	3-6-6
3.7	交換ファイル及び取出し業務について	3-7-1
3.7.1	交換ファイルについて	3-7-1
3.7.2	取出し業務について	3-7-1
3.7.2.1	SYG業務とは	3-7-3
3.7.2.2	REQ業務とは	3-7-10
3.8	ダイレクト・インターフェースにおける制御電文について	3-8-1
3.8.1	制御電文とは	3-8-1
3.8.2	制御電文の電文例	3-8-2
4.	各処理方式の詳細	
4.1	インタラクティブ処理方式(パソコン用パッケージソフトを使用)	4-1-1
4.1.1	処理方式概要	4-1-1
4.1.2	通信プロトコルの詳細	4-1-2
4.1.3	業務処理シーケンス	4-1-3
4.1.3.1	INACCSにおけるINQ型電文の場合の業務処理シーケンス例	4-1-3
4.1.3.2	本システムにおけるINQ型電文の場合の業務処理シーケンス例	4-1-5
4.1.3.3	本システムにおけるEXC型電文の場合の業務処理シーケンス例	4-1-10
4.1.3.4	本システムにおけるEXZ型電文の場合の業務処理シーケンス例	4-1-12
4.1.3.5	本システムにおける添付ファイル電文の場合の 業務処理シーケンス例	4-1-13
4.1.4	その他	4-1-14

4.2 インタラクティブ処理方式 (SMTP双方向)	4-2-1
4.2.1 処理方式概要	4-2-1
4.2.2 利用者で守るべきインターフェース	4-2-2
4.2.3 通信プロトコルの詳細	4-2-4
4.2.4 電文構造	4-2-14
4.2.5 業務処理シーケンス	4-2-29
4.2.6 その他	4-2-31
4.3 インタラクティブ処理方式 (ダイレクト・インターフェース)	4-3-1
4.3.1 処理方式概要	4-3-1
4.3.2 利用者で守るべきインターフェース	4-3-2
4.3.3 通信プロトコルの詳細	4-3-4
4.3.4 電文構造	4-3-5
4.3.5 業務処理シーケンス	4-3-7
4.3.5 その他	4-3-10
4.4 メール処理方式	4-4-1
4.4.1 NACCS EDI電文によるメール処理方式	4-4-1
4.4.1.1 処理方式概要 (EDIFACT以外)	4-4-1
4.4.1.2 通信プロトコルの詳細	4-4-2
4.4.1.3 電文構造	4-4-16
4.4.2 EDIFACT電文によるメール処理方式	4-4-28
4.4.2.1 処理方式概要 (EDIFACT)	4-4-28
4.4.2.2 通信プロトコルの詳細	4-4-29
4.4.2.3 電文構造	4-4-43
4.4.3 メールボックス	4-4-50
4.4.4 メールアドレス	4-4-54
4.4.5 業務処理シーケンス	4-4-58
4.4.6 その他	4-4-60
4.5 インタラクティブ処理方式 WebNACCS (ブラウザを使用)	4-5-1
4.5.1 処理方式概要	4-5-1
4.5.2 通信プロトコルの詳細	4-5-2
4.5.3 業務処理シーケンス	4-5-3
4.6 ebMS処理方式	4-6-1
4.6.1 処理方式概要	4-6-1
4.6.2 通信プロトコルの詳細	4-6-2
4.6.3 ebMS処理方式で使用するメッセージ	4-6-4
4.6.4 ebMS処理方式における設定情報	4-6-6
4.6.5 電文方式と構造	4-6-10
4.6.6 業務処理シーケンス	4-6-12
4.6.7 e-mail送信について	4-6-13
4.6.7.1 e-mail送信情報の生成	4-6-13
4.6.7.2 e-mail添付ファイルの生成	4-6-13
4.6.7.3 e-mailで送信される情報の種類	4-6-14

5. 宛先管理	
5.1 宛先管理の概要	5-1-1
5.2 処理結果電文の宛先の設定	5-2-1
5.2.1 処理結果電文の出力パターンについて	5-2-1
5.2.2 出力宛先の設定について	5-2-5
5.2.3 宛先管理における旧システムとの変更点	5-2-7
5.2.4 二重出力機能について	5-2-8
5.2.5 出力先プリンターの設定	5-2-9
6. セキュリティ対策	
6.1 センターハード	6-1-1
6.2 ネットワーク	6-2-1
6.3 資格チェック	6-3-1
6.3.1 ログオンチェック（業務資格チェック）	6-3-1
6.3.2 メールボックスへのアクセス資格チェック	6-3-1
6.3.3 処理結果電文（帳票用）の取得資格チェック	6-3-1
6.3.4 シングルサインオン	6-3-2
6.3.4.1 複数業種を兼業する利用者のシングルサインオン	6-3-2
6.3.4.2 メール処理方式におけるシングルサインオン	6-3-5
6.4 利用者のセキュリティ対策	6-4-1
6.4.1 利用者が行うセキュリティ対策	6-4-1
6.4.2 社外ネットワークとの接続に関するセキュリティ基準	6-4-6
6.5 netNACCS、WebNACCS及びebMS処理方式	6-5-1
6.5.1 センター側のセキュリティ対策	6-5-1
6.5.2 通信のセキュリティ対策等	6-5-1
6.5.3 netNACCS接続例	6-5-2
6.5.4 WebNACCS接続例	6-5-4
6.5.5 netNACCS、WebNACCS及びebMS処理方式利用時の注意事項	6-5-6
6.5.6 利用者側のセキュリティ対策	6-5-7
6.6 システム監査	6-6-1
7. パッケージソフト	
7.1 ハードウェアの動作環境等	7-1-1
7.1.1 パソコン本体の仕様	7-1-2
7.1.2 プリンターの仕様	7-1-3
7.2 パソコン用パッケージソフトの機能	7-2-1
7.2.1 通信機能	7-2-1
7.2.2 電文作成・電文表示機能	7-2-2
7.2.3 管理資料情報取出機能	7-2-2
7.2.4 印刷機能	7-2-3
7.3 その他の仕様	7-3-1
7.4 パッケージソフトの使用にあたっての留意点	7-4-1

8. NACCSパック	
8.1 NACCSパック	8-1-1
8.1.1 NACCSパックとは	8-1-1
8.1.2 NACCSパックの構成例	8-1-1
8.1.3 NACCSパックの提供方法	8-1-2
8.2 故障発生時におけるNACCSセンターの対応例	8-2-1
8.3 NACCSセンターによるNACCSパックの検証及び公表	8-3-1
8.3.1 検証及び公表	8-3-1
8.3.2 利用にあたっての留意点	8-3-1
9. 接続試験	
9.1 接続試験の概要と内容	9-1-1
9.2 NACCSへ新規に参加する場合の接続試験の準備等	9-2-1
10. 利用者による設定情報のオンライン変更	
10.1 利用者による設定情報のオンライン変更の概要	10-1-1
10.2 設定情報の初期設定～業務処理開始までの流れ	10-2-1
10.3 利用者による設定情報のオンライン変更の対象業務および対象項目	10-3-1
11. WebNACCSクライアント	
11.1 ハードウェアの動作環境等	11-1-1
11.1.1 パソコン本体の仕様	11-1-2
11.1.2 プリンターの仕様	11-1-3
11.2 電文受信ソフトの機能	11-2-1
11.2.1 通信機能	11-2-1
11.2.2 電文表示機能	11-2-1
11.2.3 管理資料情報取出機能	11-2-1
11.2.4 印刷機能	11-2-1
11.2.5 バージョンアップ機能	11-2-2
11.2.6 電文受信ソフトの使用にあたっての留意点	11-2-2

付録

【NACCS EDI電文・EDIFACT電文共通】

付録1.	接続形態と処理方式に関連する事項（まとめ）	付録 1-1
付録2.	データ送受信処理方式及び接続形態が混在した場合の接続の具体例	付録 2-1
付録3.	システム構築の具体例	付録 3-1
付録4.	アクセス回線とアクセスポイントについて	付録 4-1
	(1)専用線接続	付録 4-1
	(2)ダイヤルアップ接続	付録 4-1
	(3)ADSL接続	付録 4-1
	(4)ブロードバンド光接続	付録 4-1
付録5.	処理結果電文等の詳細について	付録 5-1
	(1)NACCS EDI電文	付録 5-1
	①処理結果通知電文及び出力情報電文（照会結果）のフォーマット	付録 5-1
	②出力情報電文（照会結果を除く）のフォーマット	付録 5-2
	③エラー発生時における処理結果通知電文の出力形態について	付録 5-3
	(2)EDIFACT電文	付録 5-6
	(3)継続処理となる業務について	付録 5-6
付録6.	各種コード	付録 6-1
	1. 出力情報コード体系	付録 6-1
	2. 処理結果コード体系	付録 6-3
	3. 利用者コード及び識別番号等について	付録 6-9
	付表6-9-1 対象業務一覧【凡例】	
	付表6-9-2 対象業務一覧【入出港・とん税関連業務】	

－ 2 / 3 分冊 －

付表6-9-3 対象業務一覧【輸入関連業務】

－ 3 / 3 分冊 －

付表6-9-4 対象業務一覧【輸出関連業務】

付表6-9-5 対象業務一覧【輸出入共通関連業務】

付表6-9-6 対象業務一覧【輸入食品監視支援業務】

付表6-9-7 対象業務一覧【植物検疫関連業務】

付表6-9-8 対象業務一覧【動物検疫関連業務】

付表6-10-1 出力情報コード一覧【凡例】

付表6-10-2 出力情報コード一覧【入出港・とん税関連業務】

付表6-10-3 出力情報コード一覧【輸入関連業務】

付表6-10-4 出力情報コード一覧【輸出関連業務】

付表6-10-5 出力情報コード一覧【輸出入共通業務】

付表6-10-6 出力情報コード一覧【輸入食品監視支援業務】

付表6-10-7 出力情報コード一覧【植物検疫関連業務】

付表6-10-8 出力情報コード一覧【動物検疫関連業務】

付表6-11-1 民間管理資料情報一覧【凡例】

付表6-11-2 民間管理資料情報一覧

付表6-12 WebNACCS対応業務一覧





【EDIFACT電文関係】

付録E-1 EDIFACTの概要について	付録 E-1-1
付録E-2 EDIFACT電文のエラー対応について	付録 E-2-1
付録E-3 EDIFACT対応業務サブセット名一覧表	付録 E-3-1
付録E-4 レベルA文字セット	付録 E-4-1
付録E-5 EDIFACT メッセージの導入について	
1. EDIFACT メッセージの導入に必要な作業	付録E-5-1
付録E-6. EDIFACT電文の運用方法について	
1 EDIFACT 電文の送信単位について	付録E-6-1
1.1 1交換の送信単位	付録E-6-1
1.2 シングルメッセージ、マルチメッセージの送信単位	付録E-6-1
1.3 シングルB/L、マルチB/L電文の送信単位	付録E-6-1
2 登録済の EDIFACT メッセージの訂正方法について	付録E-6-1
2.1 積荷目録情報の訂正について	付録E-6-2
2.2 船舶運航情報（VTX01）の登録・訂正について	付録E-6-5
2.3 船積確認事項登録（AGL）の登録・訂正について	付録E-6-5
3 入港前統一申請（VPX）、入港届等（VIX）、出港届等（VOX） の電文構成について	付録E-6-6
付録E-7. マッピング表	
1 NACCSで採用する EDIFACT メッセージ	付録E-7-1
2 シンタックスバージョン及びメッセージバージョン	付録E-7-1
2.1 シンタックスバージョン	付録E-7-1
2.2 メッセージバージョン	付録E-7-1
2.3 各メッセージの構造について	付録E-7-2
3 マッピング表の見方	付録E-7-18
3.1 セグメントテーブル	付録E-7-18
3.2 マッピングテーブル	付録E-7-18
4 サービスセグメントの用法	付録E-7-23
5 EDIFACT 電文のエラー対応について	付録E-7-34
5.1 CONTRLメッセージについて	付録E-7-34
5.1.1 使用目的	付録E-7-34
5.1.2 メッセージバージョン	付録E-7-34
5.1.3 作成単位	付録E-7-34
5.1.4 セグメント構造	付録E-7-34
5.1.4.1 機能グループを使用していない場合	付録E-7-34
5.1.4.2 機能グループを使用している場合	付録E-7-34
5.2 APERAKメッセージについて	付録E-7-34
5.2.1 使用目的	付録E-7-34
5.2.2 作成単位	付録E-7-34
5.3 マッピング表について	付録E-7-34
5.4 コードリストについて	付録E-7-34
6 EDIFACT 電文の入力（出力）共通項目について	付録E-7-60

6.1 入力共通項目（処理要求電文）	付録E-7-60
6.2 出力共通項目（処理結果電文）	付録E-7-61
7 業務別マッピング	付録E-7-63

【XML形式電文関係】

付録X-1 業務別XML形式電文仕様（マッピング表）	付録 X-1-1
----------------------------	----------

【ebMS処理方式関係】

付録K-1 ebMS処理方式概要図	付録K-1-1
-------------------	---------

商標：Microsoft、Windows、Windows NT、Windows2000、Windows ME、Windows98、WindowsXP、WindowsVista、Windows7  
 またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国Microsoft Corporation の米国及びその他の国  
 における商標または登録商標です。Pentiumは、Intel Corporation の登録商標です。その他の製品及び会社名  
 は、各社の登録商標または商標です。